



群馬県ホームヘルパー協議会 インフォメーション 令和 8 年 10 月号

■ 巻頭メッセージ

支え合う力を、次の世代へ

「つかい道を選べる赤い羽根募金」の活動に向け、2回目の研修を終えました。

本会がこの活動に取り組んできた10年の歩みには、会員の皆様の努力と、私たちの活動に賛同してくださる方々の温かな支えがあります。住み慣れた地域で、最期まで安心して暮らせるようにその願いを支えるホームヘルパーには、介護技術に加え、一人ひとりの暮らしや思いを理解し、状況に応じた支援を考える専門性が求められます。

本会の研修や介護トレーナーの育成は、こうした力を育み、地域の在宅介護を支える人材を増やしていくための大切な事業です。

募金は、その事業を継続し、充実させるための力となります。

今年度は、次の世代へ活動を引き継ぐ大切な時期と考え、若い世代の担当者を1名迎え、3名体制となりました。



これまで培ってきた経験や活動への思いを共有し、ともに取り組む中で、これからを担う仲間へつないでいきます。

私たちの活動の意義と、地域に必要とされる役割を丁寧に伝えることが、共感と協力の輪を広げる一歩になります。来年3月末まで、担当者3名が力を合わせ、会員の皆様とともに募金活動を進めてまいります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

募金担当者：山口伊佐子・小見佐和子・星野絵美

■ 先月の活動報告

○エントリー団体「募金研修」に参加しました。

9月25日（金）、県公社総合ビルで開催された募金研修に、募金担当者3名と石井副会長が参加しました。石井副会長は今回が初参加となりました。今後は、本会の活動を通じてどのような社会の変化を目指すのかを改めて確認し、その実現に向けて寄付を呼びかける募金計画を立て、企画書②の作成を進めていきます。



○ヘルパー支援・スキルアップ研修 第4講座が終了しました。

9月27日（日）、株式会社リバティーアソシエーションの施設内会議室をお借りして開催しました。

群馬県介護福祉士会 理事の柊澤奈英氏を講師に迎え、

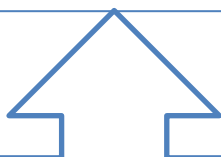
「ACP 研修 私たちが抱えるジレンマとは」をテーマにご講義いただきました。

○臨時役員会議を開催しました。

9月27日（日）、早朝からのトレーナー部門の打合せに続き、臨時役員会議を開催しました。

令和8年度下半期の事業運営について協議し、ヘルパー支援・スキルアップ研修の特別講座を追加開催することを決定しました。

研 修 名	ヘルパー支援・スキルアップ研修 「特別講座」
テーマ案	令和9年度 介護保険制度・介護報酬改定のポイントと実務対応（仮題）
開催時期	令和9年3月14日（日）13：30～
講 師	能本守康先生
対 象 者	訪問介護事業所の管理者、サービス提供責任者、訪問介護員等



研修の詳細（開催要項）は各事業所へ郵送するほか、

ホームページ（g-helper.net）や公式 Instagram、公式 LINE にも掲載いたします。

公式 LINE を友だち登録していただくと、

スマートフォンからいつでも手軽にご覧いただけます。

■ 今月の予定

No.	月 日	曜	開催時間	行 事	備 考
1	10月7日	水	13:00～	チーム広報（ヘルパーたより・チラシ作成作業）	星野チーム長／県社協
2	10月15日	木	13:00～	GHKプチケアミーティング 第4講座	講師：もんや歯科医院 院長 紋谷光徳氏
3	10月18日	日	10:00～	サービス提供責任者研修事業②	講師：能本守康氏／前橋市福祉総合会館 第1会議室
4	10月19日	月	18:30～	群馬県認知症施策推進会議	河合会長／Zoomミーティング
5	10月25日	日	13:00～	訪問介護員在宅創傷スキンケア研修2/9回	講師：畠山文子氏／前橋市総合福祉会館 第4会議室
6	10月31日	土	10:00～	多文化共生フェスティバル2026	会場：境赤レンガ倉庫

「学ぶ」（軸）

10月の言葉をお届けいたします。

「任者人也、親親為大」（中庸）

（読み）

「仁は人なり。親を親しむを大と為す。

（じんはひとなり。しんをしたしむをだいとなす。）

（ひとこと）

身近な人を大切に作る心が、人とのつながりの土台になります。

日々の介護や仲間とのかかわりでも、相手を思いやる気持ちを大切にしていきたいものです。

「思いやりの心（仁）は人間らしさそのものであり、まずは自分の親や家族を愛することから始まる」という深く温かい教えです。



【お問い合わせ】群馬県ホームヘルパー協議会／事務局